

エコアクション 2 1

2023年度 環境経営レポート

(活動期間：2023年9月1日～2024年8月31日)



PRINT & BINDING
株式会社ブックス

作成日：2024年11月19日

目 次

1. 組織の概要 ・ 対象範囲	1
2. 環境経営方針	2
3. 主な環境負荷の実績	3
4. 環境経営目標及びその実績	3
5. 環境経営計画及び取組結果とその評価、 次年度の取組内容	4
6. 環境関連法規等の遵守評価結果 及び違反、訴訟等の有無	5
7. 代表者による全体の評価と見直し・指示	6

1. 組織の概要 ・ 対象範囲

(1) 名称及び代表者名

株式会社ブックス
代表取締役 黒田 季之

(2) 所在地

本 社 岡山県瀬戸内市邑久町北島 2 2 2 - 1

(3) 事業内容

印刷・製本・加工
主要製品： 教材・カタログ・DM

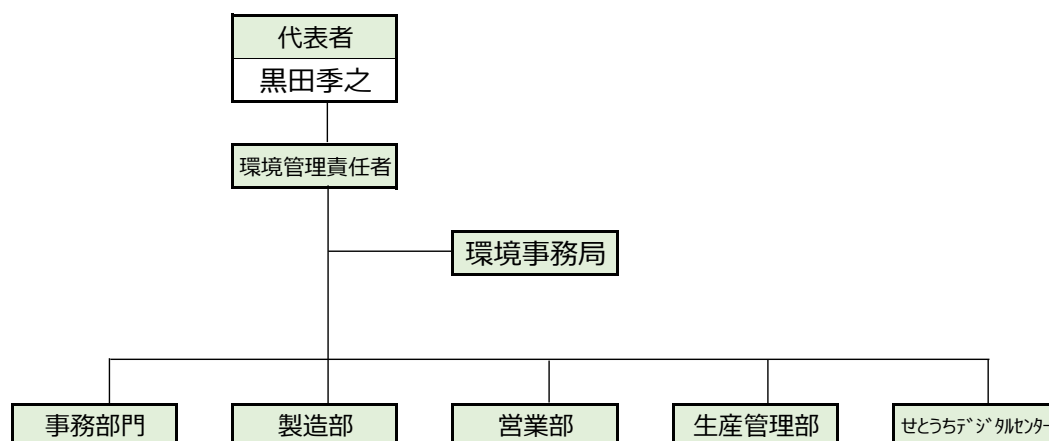
(4) 事業の規模

従業員数 36名
延べ床面積 2,820㎡

(5) 対象範囲

登録事業者名： 株式会社ブックス
対象事業所： 本社
活 動： 教材・カタログ・DM等の製造(印刷・製本・加工)
対 象 外： なし

(6) 実施体制



2. 環境経営方針

環境経営方針

当社は、「顧客を一番」と考え、豊かな発想と責任ある創造技術を通じて、文化と教育に貢献し、地域社会で価値ある組織を目指しています。主事業である紙を媒体にした製造技術の改善を推進し、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

1. 電力使用量の削減
2. 製造プロセスで発生する不良品を削減する
3. 廃棄物の削減及び再生利用を推進する
4. 環境配慮を重視した製品の製造及びサービスを提供
5. 生産性向上に務め、時間短縮を推進する
6. 地域の環境活動に率先して参画する
7. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守する

制定：2016年5月12日

改定：2022年8月20日

株式会社ブックス
代表取締役 黒田 季之

3. 主な環境負荷の実績

項 目		単位	2023年度
二酸化炭素総排出量		kg-CO2	554,758
廃棄物排出量	一般廃棄物排出量	kg	977.0
	産業廃棄物排出量 (有価売却を含む)	kg	736848.00
総排水量	水使用量	m3	349

※電力のCO₂排出係数は【0.677kg-CO₂/kWh】を使用しています。

4. 環境経営目標及びその実績

項 目		単位	基準値	2023年度		2024年度	2025年度	評価
			(基準年)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)	
電力使用量の削減		kWh 基準年比	1,063,473 (2017年度)	999,665 94%	807,509 76%	989,030 93%	978,395 92%	○
一般廃棄物の削減		kg 基準年比	608 (2015年度)	559 92%	977 161%	553 91%	547 90%	×
水使用量の削減		m3 基準年比	524 (2017年度)	493 94%	349 67%	487 93%	482 92%	○
梱包関連資材の削減		万円/年 基準年比	342 (2022年度)	339 99%	304 89%	335 98%	332 97%	○
不良率の削減	無線綴	%	1.55 (2015年度)	1.43	1.28	1.41	1.40	○
	中綴じ	%	1.04 (2015年度)	0.95	0.65	0.94	0.93	○
	折	%	1.24 (2015年度)	1.14	1.04	1.13	1.11	○
	貼り込み	%	1.7 (2015年度)	1.57	1.41	1.55	1.53	○
生産性向上・時間短縮 (工場生産高)		万円 基準年比	17,381 (2022年度)	17,555 101%	15,552 89%	17,729 102%	17,902 103%	×

※電力のCO₂排出係数は【0.677kg-CO₂/kWh】を使用しています。

※化学物質は適正に管理しています。

5. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

目標項目	担当者	環境経営計画（中間計画含む）	取組結果	評価（結果と次年度の取組内容）	次年度
電力使用量の削減	石田（英） 福島	・数値目標	○	目標値、活動計画どちらも達成できている。 引き続き定期点検を実施し、削減できるように継続する。	-
		・不要照明の消灯	○		継続
		・エアコンのフィルター点検・清掃	○		継続
		・空気圧縮機のエア洩れ点検	○		継続
一般廃棄物の削減	首藤	・数値目標	×	活動計画は達成できたが、目標値の達成ができなかった。原因を調べ対策する必要がある。	継続
		・分別の徹底	○		継続
					-
水使用量の削減	首藤	・数値目標	○	目標値も活動計画も達成できた。 引き続き節水するように呼び掛ける。	-
		・水道使用時の節水	○		継続
					-
梱包関連資材の削減	石田（裕）	・数値目標	○	目標値、活動計画どちらも達成している。引き続き梱包方法を見直し改善していきたい。	-
		・結束紐の使いしさを優先的に使用する	○		継続
		・伝票確認で梱包ミスをなくす。	○		継続
		・過剰梱包をやめる。	○		継続
不良率の削減	石田（裕）	・数値目標	○	目標値、活動計画どちらも達成しているため、引き続き継続する。 不良が多く発生しそうな商品に関しては、より慎重に作業する。	-
		・不良が出にくいセットの実施	○		継続
		・機械メンテナンス	○		継続
		・少ロット時の頭出しの軽減・汚れの確認を徹底し、スタートする	○		継続
生産性向上・時間短縮（工場生産高）	石田（英）	・数値目標	×	基準値を見直しおしたが、目標を達成することができなかった。 活動計画は達成できた。	-
		・セット時間短縮	○		継続
		・整理整頓を行う	○		継続
		・技能実習生の教育	○		継続

※環境経営方針の「4.環境を重視した製品の製造及びサービスの提供」は梱包関連資材の削減に該当します。

○・・・よくできた

△・・・あまりできなかった

×・・・全くできなかった

6. 環境関連法規等の遵守評価結果及び違反、訴訟等の有無

(1) 遵守評価結果

遵守評価日：2024年11月19日

法規制等の名称	法規制要求事項	該当する設備	評価
廃棄物処理法	委託基準：一廃収集業者の許可の確認		○
	委託基準：産廃収集運搬・処理業者の許可の確認、契約		○
	保管基準 掲示板：60cm×60cm以上表示 飛散・浸透防止 衛生管理		○
	マニフェスト交付 B2・D票90日、E票180日以内に送付されない場合は30日以内の知事への報告 A、B2、D、E票の保管（5年間）		○
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出		○
	処理業者から処理困難の通知を受けた場合、30日以内に知事に「措置内容等報告書」による報告		○
	処理の状況について確認の努力義務		○
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	第1種指定化学物質取扱者は排出・移動量を報告（年間取扱量1トン以上で従業員21名以上の場合）		△
	性状及び取扱に関する情報（SDS）の受取・発行		○
浄化槽法	設置または変更の届出	合併処理浄化槽	○
	保守点検、清掃、記録の保管（3年間）		
	定期検査（指定検査機関での検査実施）		
消防法	消防訓練の実施		○
	消防設備の点検		○
フロン排出抑制法	フロン類の登録充填回収業者による適切な引き渡し	業務用空調機	○
	フロン類回収時の委託確認書交付と引取証明書の保存（3年間）		
	引取証明書が30日以内に送付されない場合の知事への報告		
	第1種特定製品の点検・記録の保管 簡易点検：3ヶ月に1回以上 定期点検：1年もしくは3年に1回以上（一定規模以上） 点検の記録は、廃棄した後も3年間保存		
家電リサイクル法	特定家庭用機器の適正な廃棄	エアコン、テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機等	○
騒音規制法	地域別騒音基準の順守	空気圧縮機： 22kW 4台 朝・夕：60dB 昼間：65dB 夜間：50dB	○
	特定施設の事前届出		
振動規制法	地域別振動基準の順守	空気圧縮機 昼間：65dB 夜間：50dB	○
	特定施設の事前届出		

(2) 違反、訴訟等

過去5年間に於いて、環境関連法規の違反、訴訟等はありませんでした。

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

概ね目標は達成できているが、一般廃棄物の削減と生産性向上時間短縮が未達となった。一般廃棄物の増量は、新規事業であるデジタル印刷が要因でないか調査する必要がある。デジタル印刷事業部では、アクリルやスチレンパネル、アルミ複合版などの端材が多く排出されているので、これらのリサイクルについて検討が必要。生産性向上は、収益を上げるためには必須事項である。おそらく製本案件も大量ロットから、多品種小ロットに変化しているため、生産性が下がってきている可能性がある。小ロット案件でも、手返し良くこなせるように切り替えなどの工夫・研究をして、生産性向上に繋げたい。

株式会社ブックス
代表取締役 黒田 季之

環境活動の紹介

EV 充電ステーション設置



地域・社会貢献（工場見学）

